

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2010-505135

(P2010-505135A)

(43) 公表日 平成22年2月18日 (2010.2.18)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)  
 GO2B 6/02 (2006.01) GO2B 6/10 C 2H150

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 19 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2009-529481 (P2009-529481)</p> <p>(86) (22) 出願日 平成19年9月28日 (2007.9.28)</p> <p>(85) 翻訳文提出日 平成21年5月26日 (2009.5.26)</p> <p>(86) 国際出願番号 PCT/CA2007/001752</p> <p>(87) 国際公開番号 W02008/037089</p> <p>(87) 国際公開日 平成20年4月3日 (2008.4.3)</p> <p>(31) 優先権主張番号 60/847,687</p> <p>(32) 優先日 平成18年9月28日 (2006.9.28)</p> <p>(33) 優先権主張国 米国 (US)</p>	<p>(71) 出願人 509088321                  ユニヴェルシテ・ラヴェル                  カナダ国ケベック ジー1ブイ Oエイ6                  , ケベック, リュー・デ・ピプリヨテッケ                  2320, ロカル 1434, パヴィヨ                  ン・デ・スイヤーンセ・ドウ・レデュカス                  イヨン, ヴィスーレクトラ・ア・ラルシ                  エルシュ・エ・ア・ラ・クレアスイヨン</p> <p>(74) 代理人 100140109                  弁理士 小野 新次郎</p> <p>(74) 代理人 100089705                  弁理士 社本 一夫</p> <p>(74) 代理人 100075270                  弁理士 小林 泰</p>
---	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 低フォノンエネルギーガラス媒体に永久的に回折格子を書き込むシステムおよび方法

(57) 【要約】

低フォノンエネルギーガラス導波路内に回折格子を永久的に書き込むシステムおよび方法が示される。超短光パルスを発生させ、導波路内で同期して重ね合わさった2つのビームを形成し、それによって所望の格子に対応する干渉パターンを形成する。光パルスは、導波路内の光強度がフィラメンテーション閾値を超えるように集束させる。これらの光パルスへの導波路の露光は、導波路のガラス媒体内で高輝度パルスによって誘起される有害な熱効果を制限するために、時間的かつ空間的に制御される。

